



2月のほけんだより

呉市役所 子育て施設課 0823-25-3144

子どもの気になる行動

「周囲の他の子と比べた時に何か反応が違う・・・」「一生懸命育てているのにうまくいかない・・・」と悩んでいる保護者のみなさん、自分ばかりを責めないで、一度お子さんの様子をじっくり見つめてみませんか。保護者や保育者の気づきをきっかけに、わかりやすく指示することで、その子が過ごやすく、結果として子どものできることや楽しめることが増えたら、とてもいいことだと思います。

全年齢を通じて気になる様子はありませんか？

令和5年 第267号

こんな様子はありませんか？

※とても育てやすい！※

- ・おとなしくて、一人にしても泣かない。
- ・「一緒に遊んでほしい」、「そばにいてほしい」という要求が全くない。

※とても育てにくい！※

- ・何をするにも気に入らないことが多く、些細な事にこだわる。
- ・思い通りにいかないとかたまって拒絶するか、ひどく泣いたり暴れたりする。

「発達障害」という言葉を 目にしたことがあるでしょうか？

脳機能の発達に偏りがある「発達障害」は、出来事の受け取り方が定型発達とは、異なっていることがあります。こちらが伝えたい内容を、一般的な伝え方では理解しないことが多くあります。子どもに伝えるためには、こちらが手間をかけてあげる必要があります。発達障害は生まれつきの障害であり、子どもの生活や子育ての仕方に影響されてなるものではありません。

「少数派」という理解を・・・

この「発達障害」という言葉についても、「障害がある」というよりは、「少数派である」という理解が広まりつつあります。その理解のほうは、過度に恐れたり避けたりすることなく、子どもの発達を冷静に観ることができるかもしれません。

このような様子がある時には、保健センターやかかりつけの小児科で相談することをお勧めします。今年度より、5歳児発達相談が始まりました。詳しくは、ほけんだより7月号をご参照ください。

- ◇西保健センター（和庄1丁目2-13） TEL:0823-25-3542
- ◇東保健センター（広古新開2丁目1-3） TEL:0823-71-9176

乳児期の気になる様子

- ・あやしたり笑いかけたりしても、特別反応を示さない。
- ・睡眠サイクルができない、安定しない。
- ・名前を呼んでも反応しない、視線が合いにくい。
- ・意味のある言葉がでない。
- ・まねっこをしない、ほかの子に興味を示さない。
- ・特定の光や音、触られること（抱っこなど）を極端に嫌がる。
- ・相手の立場に置き換えて考えることが苦手である。（手のひらを自分に向け、「逆さバイバイ」をすることがある。）

幼児期（2～3歳）の気になる様子

- ・言葉が少ない、周囲とのコミュニケーションが難しい。
- ・一人遊びを好む、独り言が目立つ、テレビのセリフやフレーズを繰り返す。（「ごっこ遊び」や「見立て遊び」が苦手）
- ・外出の際に保護者から離れても、不安になる様子がない。
- ・手をつなぐことを嫌がり、迷子になりやすい。
- ・偏食がある。（食べられるものが少ない）
- ・要求する時や自分の代わりにやってもらいたい時など、大人の腕を引っ張って伝えようとする。

幼児期（4～6歳）の気になる様子

- ・新しい場所や人に慣れるのに、時間がかかる。
- ・急な予定変更を極度に嫌い、不安がる。
- ・自分の思う通りでなかった時に、ひどいかんしゃくをおこす。
- ・運動会や発表会などの特別な行事への参加を嫌がる。
- ・活動中でも教室や園庭からふらりと出て行くなど、興味がないとその場から離れる。
- ・音に敏感で耳をふさぐ。
- ・同じ肌触りや気に入った色の服や靴ばかり好む。
- ・危ないと注意しても聞かず、高いところから飛び降りたり、道路に飛び出したりする。
- ・体の動かし方が極端にぎこちない。（片足飛びでバランスを崩す、両足ジャンプで足がそろわないなど全体的な身体の動きに、ぎこちなさがある。）



くれ子育てねっと ほけんだより

<https://kure-kosodate.com/service/829.html>

